

自分自身の避難行動マニュアル「マイ・タイムライン」を作成しましょう！

いざという時、慌てずに行動できるようにするため、災害前の備えや避難するタイミングなどをあらかじめ家族で話し合い、「いつ」「誰が」「何を」するか、家族がとるべき行動を整理した行動計画がマイ・タイムラインです。

用紙は、危機管理課で配布しているほか、自宅のパソコンやスマートフォンでも作成できます。



スマホで簡単に
防災タイムラインが
作成できます！

川などの様子を見に行かないで！

「田んぼの様子を見に行く」、「川の様子を見に行く」と言って外出し、溺れたり流されたりするケースが全国で起きています。

見に行った人が戻ってこないと家族や地域の人々が心配し、迷惑をかけることになります。田んぼや畑が心配でも、安全かどうかは安易に判断せず、自分は大丈夫と過信しないで命を守る行動をとってください。



川の水位や状況は安全な場所からも確認できます！

●府中市河川監視カメラ 河南橋と僧殿橋付近に、河川監視カメラを設置しています。豪雨の際も川の状況が安全な場所



で確認可能です。



●(一財)河川情報センター 「川の水位情報」

国や県が設置している水位計や河川カメラも併せて閲覧することができます。



▲こちらから
確認できます

“”「地震」にも備える

今年1月1日に石川県能登地方で起こった最大震度7の「令和6年能登半島地震」により、甚大な被害が発生しました。今後30年以内に発生する確率が70～80%と言われている南海トラフ巨大地震では、府中市で最大震度6弱、全壊418棟の被害が想定されています。

命を守るために地震についても理解を深め、いざというときに適切な行動がとれるよう備えておきましょう。



能登半島地震で倒壊した建物
(一財)消防防災科学センター

まずは身の安全を守る

緊急地震速報！
または揺れを感じたら…



●家や職場、学校にいるとき

頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する。揺れが収まり安全になってからガスの元栓を閉める。

●車を運転しているとき

急ブレーキはかけず、徐々に速度を落として道路の左側に停止する。
カーラジオなどで情報収集する。



緊急地震速報とは？

最大震度が5弱以上の揺れが予想されるときに、震度4以上の揺れが予想される地域に対して気象庁が発表します。テレビやスマートフォン、防災行政無線などを通じて皆さんの元に届きます。